



進路ニュース

令和元年7月号
藤代高等学校進路指導部



夏休みを迎えました。この夏は、幅広くできるだけ多くの大学のオープンキャンパスに参加しましょう。大学をよく理解し、自分の目標とする大学をしっかりと定めて、自分の進路実現のための努力をしてください。3年生にとって夏休みは勝負どころです。自分にとって学習に専念できる学習環境と学習習慣をつくり、学習時間を確保してください。

1 第一志望をあきらめずに勉強しよう

(1) 今、3割しか得点できなくても

右表は河合塾の資料です。国公立大学に合格した人が3年生の模試で、最低どのくらい点数をとっていたかがわかります。茨城大レベルでは5月時点でなんと**30%しか得点していない人が合格**していることになります(○部分)。5月は現役生はまだ部活引退前です。みんなこんなもんです。模試の判定が悪くても挫けず、あきらめずに第一志望目指して勉強した人が合格するのです。

(2) 夏休みの勉強時間

部活を引退した人は、引退したその日から勉強を始めましょう。3月に実施した、先輩の合格体験談を聞く会での話によると夏休みは全員最低でも10時間、平均して13時間は勉強していました。**受験は団体戦**です。仲間が頑張っている姿を見れば自分も頑張れます。課外や蒼藤館を積極的に利用して、一緒に勉強しましょう。

(3) 焦らないことー実力はついていきます

表を見ると5月模試で30%しか得点できなかった人が勉強を始めたからといって、8月模試に成績が急上昇するかといったら上がりません。得点率34%と4%しか点数は伸びません。10月になっても39%です。

そりゃそうですって。そんなに勉強は甘くはありません。しかし、この時期に自分を信じてコツコツ勉強した人は(勉強した箇所だけが模試で出題されるわけではないので) **得点には結びついていなくても、確実に実力はついている**のです。さらに見てみると12月の模試の時点でもまだ41%です。得点が伸びないのは学力がもっと高い層でも同じです。どのレベルの大学の受験生を見ても、逆転合格した生徒の5月→8月→10月の模試の結果はほとんど上昇していないことが表から見てとれます。

(4) D判定は「大丈夫のD」

それでも第一志望をあきらめずに自分を信じて勉強した人は年が明けて(つまり年明けに試験範囲の勉強が一通り終わって)から急激に成績が伸びて、センター試験本番で70%以上得点して見事に合格を勝ち取ります。

「D判定は『大丈夫のD』」…これは、ある卒業生がいつも唱えていた言葉です。その生徒はこの言葉を都内有名大学に通っているお兄さんから教わったそうです。**東京大学に合格した現役生も大半はD判定**だといいます。藤高生のみなさんも最後まで第一志望をあきらめることなく頑張りました。先生方はいつでも応援しています。

2 2019年度入試結果を振り返る

次ページの図は茨城大学・人文社会科学部の併願大学の入試結果です。図の上側は茨城大を前期に受験した生徒の中期・後期試験の状況、図の下側は同じく私立大の併願状況です。ここから読み取れることをお話します。

(1) 国立大学の後期出願は前期よりランクを落とすのがセオリー

中期後期の併願大の1位・2位は、茨城大の同じ学科に出願するパターンです。茨城大に入学したい生徒が受験するわけですから、後期も同じ大学を出願したいと思う気持ちはよくわかりますが、**同じ大学を後期に受験した場合、合格率は人間文化学科で4.9%**です。よっぽどいい私立大に合格しているのであれば別ですが、併願校の私立大の合格実績は(2)で示す通り、かなり厳しい結果となっています。後期試験に不合格だった場合、相当下のランクの滑り止めの私立大学に行かなければならないのですから、同じ大学を後期試験で受験することは、まったくおすすめできません。

2019年度入試結果分析

河合塾

センター試験からみる、全統マーク模試成績の下限

	センター試験 自己採点結果	ボーダーラインのめやす (大学)	5月 第1回全統マーク	8月 第2回全統マーク	10月 第3回全統マーク	12月 全統センター試験 プレテスト
5→7 理系	90% ~	東京大・京大・医学部医学科	65% ~	69% ~	69% ~	69% ~
	80% ~	東京工業大・東北大・大阪大・名古屋大など	47% ~	55% ~	57% ~	58% ~
	75% ~	北海道大・筑波大・千葉大・東京農工大など	41% ~	47% ~	47% ~	51% ~
	65% ~	埼玉大・群馬大・信州大・電気通信大など	33% ~	37% ~	39% ~	41% ~
5→7 文系	90% ~	東京大・京大	57% ~	65% ~	67% ~	69% ~
	80% ~	一橋大・東北大・大阪大・名古屋大など	43% ~	50% ~	54% ~	58% ~
	75% ~	北海道大・筑波大・横浜国立大など	36% ~	43% ~	49% ~	51% ~
	65% ~	宇都宮大・新潟大・茨城大など	30% ~	34% ~	39% ~	41% ~

（２）私立大学に合格するのは大変です

私大の併願大をみると一般入試では東洋大と國學院大が多いですが、**茨城大受験者の東洋大の合格率は28.6%**。まして國學院大は15.4%、昨年度の結果を調べてみると、なんと0%でした。日東駒専レベル以上は、まったく「滑り止め」にはなりません。それならば就職においてMARCHと同等以上と言われる、国公立大学になんとしてでも入学できるようにがんばりましょう。3科目入試の国公立大学もあります。

（３）私大センター試験利用出願はよく考えましょう

茨城大受験者の、國學院大へのセンター試験利用受験の合格率は2年連続で0%でした。茨城キリスト教大でも合格率は60%しかありません。常磐大になると、ようやく88.2%と滑り止めとして有効になります。このような結果なら一部の学力が高い人を除いて、センター試験利用受験は受験料がもったいないと思ってしまうのは私だけでしょうか？

2019年度入試結果

国公立大併願大学						
順位	大学名	学部	学科	入試方式	併願者数 （併願者数）	併願先 合格率
1	茨城大	人文社会	人間文化	後	61	4.9%
2	茨城大	人文社会	現代社会	後	10	20%
3	新潟文科大	経済	地域社会	中	7	28.6%
4	長野大	環境工	環境工	中	4	100%
5	神奈川経済大	経済	経済	後	3	0%
併願先合格率：入試結果発表を基に該当校・併願校ともに受験した生徒の併願先合格率						
私立大・短期大・専門学校・その他 併願大学						
順位	大学名	学部	学科	入試方式	併願者数 （併願者数）	併願先 合格率
1	常盤大	人間科学	心理	七I期	17	88.2%
2	東洋大	文	史学	前3均	14	28.6%
3	国学院大	文	史学	A得意	13	15.4%
4	国学院大	文	史学	七I期	11	0%
5	茨城キリスト大	文	文化交渉	七I期	10	60%
併願先合格率：入試結果発表を基に該当校・併願校ともに受験した生徒の併願先合格率						

3 オープンキャンパスに行こう

いろいろな機会に夏休みにはオープンキャンパスに参加すると言われていると思いますが、なぜオープンキャンパスに行かなければならないかという点、以下の3点のためだと私は考えています。

（１）志望理由をみつけるため

2018年度入試より茨城大学教育学部の2次試験に面接が追加されましたが、その他にも国公立大学では公募推薦や後期試験、私立大学でもAO・推薦入試などでは、面接・小論文・志望理由書などの様々な形を通して志望理由を尋ねられます。さらに言えば「同じような学部を持つ大学がたくさんある中で、なぜ他大学でなく、ほかならぬ□□大学なのか」という質問に対して具体的に答えられなければなりません。その時、環境が・・・とか、設備が・・・とか、少人数制だから・・・などと、パンフレットやウェブサイトを書いてあるような陳腐なことを答えたらアウトです。そこで「オープンキャンパスで〇〇先生の模擬授業を聞いて△△の話に感動したので、〇〇先生の下で～について研究したい」と答えたらどうでしょう。〇〇先生はその大学にしか存在しないので、ほかならぬ□□大学でなければならない、またとない理由になります。

オープンキャンパスでは空欄を埋められるように、よく話を聞いておきましょう。

（２）入試当日の下見のため

入試の直前になって下見をする人がいますが、直前は時間をもったいないし、真冬の厳寒期に行き、受験前の大事な時期に風邪でもひいたら大変です。今のうちに行って経路をチェックし、所要時間、忘れ物をした時に途中で買物ができる場所や学内での校舎の配置などを確認しておこう。

（３）大学がチェックしているから

本校で実施している国公立大学説明会のなかで、ある講師の先生が有益な特選情報を語ってくれました。それは「大学は自分の大学に入学したいという希望の強い生徒には是非とも入学してもらいたいのので、何回大学に来たか、全部記録している。何度も大学に来てくれている生徒には、なんとか合格してもらえように入試の時にあれこれ工夫する」ということでした。もしかするとオープンキャンパスは、あなたにとっての大学合格への優先チケットのようなものになるかもしれません。

また、そのほか1・2年生にも学年別のポイントがありますので、志望大学には何回でも足を運んでください。

【1年生・文理選択のために】

文系、理系の選択をする前に、それぞれの学問の中味をオープンキャンパスを通じて体験してみましょう。あなたの進路を、定期考査や模試の成績だけで決めて後悔しないために。また、大学に行くかどうかはまだ未定という人は、大学がどんなところか自分で一度体験してみてください。

【2年生・第1志望校を決めるために】

それぞれの学部・学科がどんな将来に繋がっているのか、調べてみましょう。推薦入試やAO入試で進学する場合、実はもう受験本番まであまり時間がありません。2年生のうちに具体的な目標を定めよう。